

# 南会津地域感染症通信 10月号

調査対象期間：2018年第39週～第42週（9/24～10/21）

平成30年10月  
福島県南会津保健所  
電話 0241-63-0306



朝晩の冷え込みが強くなり、冬の気配を感じるようになりました。皆さん、体調はいかがですか。空気が乾燥するとウイルスも増えやすくなります。手洗い・うがいをしっかり行い、感染症を予防しましょう！

＜感染症流行状況＞ ※南会津地域の指定医療機関（2か所）からの報告をもとに作成しています。

	39週	40週	41週	42週	県内の状況
RS ウイルス感染症	0	1（小流行）	0	3（流行）	県内全域で流行 または小流行
A 群溶血性レンサ球菌咽頭炎	0	1（小流行）	1（小流行）	1（小流行）	県内全域で小流行 または流行
ヘルパンギーナ	1（小流行）	6（流行）	2（小流行）	0	県内一部地域で流行 または小流行
インフルエンザ	0	1	0	0	小流行・流行の地域は まだありません

※数字の後ろの（ ）内は南会津管内の流行状況です

## ＜風しんについて＞

7月頃から関東地方を中心に風しんが流行しています。特に30～50歳代の男性の報告が多くみられています。県内では福島市、郡山市、いわき市で計5件の報告がありました。風しんは感染後、約2～3週間の潜伏期を経た後、発熱や発疹、首や耳の後ろ側の腫れなどの症状が見られます。妊娠初期のお母さんが風しんに感染すると生まれてきた赤ちゃんに難聴や心疾患等の障害を引き起こす可能性があります（先天性風しん症候群）。

予防にはワクチン接種が最も有効ですが、妊娠中は行えませんので、できるだけ人ごみを避け、手洗い・うがいを行いましょう。

妊婦さんの家族の方は予防接種をご検討ください。



## ＜今月のトピックス＞ ～インフルエンザ～

インフルエンザは主に冬季に流行がみられ、インフルエンザウイルスに感染することによって全身症状があらわれる病気です。例年、大きな流行の原因となるのはインフルエンザA型もしくはB型です。

**感染経路**：飛沫・接触感染

- (1) 咳・くしゃみ
- (2) 患者の鼻汁などによる接触感染

**症状**：突然の発熱（数時間のうちに38℃以上の高熱となる）、頭痛、関節・筋肉痛、のどの痛み、咳 etc.

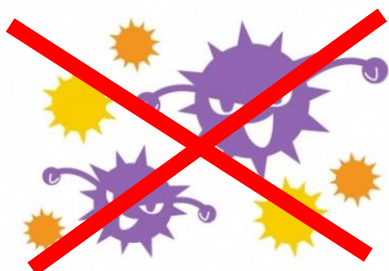
潜伏期間は18～72時間程度で、発症後2～5日間はウイルス排泄を認めます。

※子どもはまれに急性脳症がみられることがあり、また高齢者や免疫力の低下している方は肺炎を伴うなど重症になることもあります。

※発症から5日を経過し、かつ解熱後2日（幼児は3日）を経過するまでは出席停止・・・[学校保健安全法](#)

**予防方法**：流行前の予防接種、手洗い・うがい、咳エチケット、湿度の保持、十分な休養とバランスのとれた食事

インフルエンザの予防接種は発症をある程度抑える効果や発症後の重症化や死亡を予防する効果があり、特に小児や高齢者、基礎疾患のある方に効果が高いと考えられています。



感染の拡大防止には一人ひとりの予防が大切です！日頃から、こまめに手洗い・うがいを行いましょう。